

令和7年度（2025年度）

近畿大学大学院
農学研究科

学 生 募 集 要 項



目次

0	アドミッションポリシー	1
①	近畿大学教育方針	1
②	農学研究科のアドミッションポリシー（入学者受入れ方針）	1
1	入学試験	5
①	入学試験日程表	5
②	入試予備日	5
2	出願資格	6
①	博士前期課程 学内入学選考（9月募集・2月募集）	6
②	博士前期課程 一般入学選考（9月募集・2月募集）	6
③	博士前期課程 社会人入学選考（9月募集・2月募集）	7
④	博士後期課程 一般入学選考（9月募集・2月募集）	7
⑤	博士後期課程 社会人入学選考（9月募集・2月募集）	8
3	出願書類	9
4	選考方法	11
①	博士前期課程 学内入学選考（9月募集・2月募集）	11
②	博士前期課程 一般入学選考（9月募集・2月募集）	11
③	博士前期課程 社会人入学選考（9月募集・2月募集）	11
④	博士後期課程 一般入学選考（9月募集・2月募集）	12
⑤	博士後期課程 社会人入学選考（9月募集・2月募集）	12
5	出願	13
①	出願方法	13
②	書類送付・問い合わせ先一覧	15
③	その他	15
6	合格発表および入学手続	16
①	発表方法	16
②	入学手続	16
③	入学金（入学申込金）学費等の納入	16
④	学費等一覧表	17
7	奨学金・入学辞退に伴う学費等返還	18
①	奨学金	18
②	経済的負担軽減に関する支援制度	18
③	入学辞退に伴う学費等返還	18
8	その他	19

近畿大学教育方針

本学は、未来志向の「実学教育と人格の陶冶」を建学の精神とし、「人に愛される人、信頼される人、尊敬される人の育成」を教育の目的として掲げてきました。この「建学の精神」と「教育の目的」は、知識基盤社会へ転換しようとする21世紀の日本において、いっそう必要とされる理念であると自負します。

本学が、総合大学として各学部の特徴を生かしながら、共に手を携えて目指そうとしているのは、「実学教育」と「人格の陶冶」の融合です。真の「実学」とは、必ずしも直接的な有用性を志向するだけではなく、その事柄の意味を学び取ることを含みます。現実立脚しつつも、歴史的展望をもち、地に足をつけて、しなやかな批判精神やチャレンジ精神を発揮できる、創造性豊かな人格の陶冶を志向するものです。「自主独往の気概に満ち」、生涯にわたって自己の向上に励み、社会を支える高い志をもつことが「人に愛され、信頼され、尊敬される」ことにつながります。このような学生を社会に送り出すことが、これからの時代に、本学が目指す社会的使命であります。

農学研究科のアドミッションポリシー(入学受入れ方針)

農業生産科学専攻

農業生産科学専攻では、本学の建学精神である「実学教育」と「人格の陶冶」をふまえ、農学に係る自然科学から社会科学までの幅広い知識と技術を修得し、身につけた高度な能力を実社会が抱える様々な問題の解決に実践、応用できる人材の育成を目指しています。また、農業生産の現場における諸課題を解決する能力を有し、環境と健康に配慮した作物の生産と流通に関連する各分野で活躍できる創造性豊かな人材の育成を目指しています。これを実現するために、以下に挙げるような人物像を備えた入学者を国内外から広く受け入れることを目的とし、学内推薦入学選考、学内入学選考、一般入学選考、社会人入学選考、外国人留学生入学試験を実施いたします。博士前期課程の選考・入学試験は、志願者の基礎学力やコミュニケーション能力について、学力試験（英語と専門科目）および口頭試問により行います。博士後期課程の選考・入学試験は、口頭試問により行います。口頭試問に関しては、以下に挙げる4つの項目をもつ人材をルーブリック（取り組み姿勢、目的・背景の理解、研究遂行力、卒業研究結果に対する解釈力・考察力、卒業研究および修士論文発表のプレゼンテーション能力）で総合的に評価しています。

【博士前期課程】

1. 農業生産科学専攻博士前期課程の教育を理解し修得するのに必要な学力と学修・研究意欲を有する人。
2. 農学研究を行う上で不可欠となる英語科学論文の読解力と理解力を有する人。
3. 本専攻分野の学問的発展と社会的貢献を果たすため、幅広い専門知識、応用力、実践力の修得を目指す人。
4. 本専攻分野の教育・研究成果を国際的に発信するためのコミュニケーション能力を高め、役立てる能力と意欲のある人。

【博士後期課程】

1. 農業生産科学専攻の教育を理解し、技術者、研究者、指導者として自立するために必要な知識と技術を学修し研究する意欲を有する人。
2. 農学研究を行う上で不可欠となる英語科学論文の読解力と理解力に加えて、母国語のみならず英語でのコミュニケーション能力を学修する意欲のある人。

3. 本専攻分野の学問的発展と国内外における社会的貢献を果たすため、幅広い専門知識、応用力、実践力の修得を目指す人。
4. 本専攻分野の教育・研究成果を国際的に発信し、国内外で役立つ能力と意欲のある人。

水産学専攻

水産学専攻では、自然と調和した水産業の発展のため、水域の食料生産や環境保全などの幅広い分野で世界の水産業を牽引できる人材の育成を目指しています。

具体的には、以下に挙げるような人物像を備えた入学者を国内外から広く受け入れるため、学内推薦入学選考、学内入学選考、一般入学選考、社会人入学選考、外国人留学生入学試験を実施いたします。博士前期課程への各選考・入学試験では、英語と専門科目の学力試験および口頭試問を行い、各試験が個別に評価されます。また、博士後期課程への入学には口頭試問を行い、研究への取り組み姿勢、目的・背景の理解、遂行能力や修士論文の内容等について総合的に評価しています。

【博士前期課程】

1. 水産科学に関する基礎的知見を有し、現在の水産業が抱える問題点に取り組む意志を有する人。
2. 水産学研究を行う上で不可欠となる英語科学論文の読解力と理解力を有する人。
3. 自然環境との共生を理解し、魚介類の生産から加工までの水産業全体を掌握する広い知識、応用力、実践力の修得を目指す人。
4. グローバル化した産業と研究のニーズに対応するため、コミュニケーション能力と国際的発信力の強化に意欲を有する人。

【博士後期課程】

1. 水産科学に関する基礎的知見を有し、現在の水産業が抱える問題点に対して技術者、研究者、指導者としての視点で解決方法を学修・研究する意志を有する人。
2. 水産学研究を行う上で不可欠となる英語科学論文の高度な読解力と理解力とともに、情報を効果的に利用できる能力の修得を目指す人。
3. 魚介類の生産から加工までの水産業全体を掌握する幅広い知識、自然環境との共生の理解、柔軟かつ独創的な応用力、実践力について各分野の専門家としての修得を目指す人。
4. グローバル化した産業と研究のニーズに対応するため、本専攻分野の教育・研究成果を国際的に英語で発信し、国内外で役立つコミュニケーション能力の修得意欲を有する人。

応用生命化学専攻

応用生命化学専攻では、生命現象を化学的視点から理解することによって生命の特性を活用し、人類が直面する課題の解決に挑む人材の育成を目指して、以下の能力を有する入学者を国内外から広く受け入れます。入学選考では、学内推薦入学選考、学内入学選考、一般入学選考、社会人入学選考、外国人留学生入学試験を実施します。各選考・入学試験においては、志願者の基礎学力やコミュニケーション能力について、学力試験（英語と専門科目）、口頭試問などを適宜実施し、総合的に評価します。また、口頭試問に関しては、以下に挙げる3つの項目をもつ人材をルーブリック（専攻分野に関連した研究の理解（前・後期課程）、コミュニケーション能力（前・後期課程）、論理的思考力（後期課程）、研究意欲（前・後期課程））で総合的に評価します。

【博士前期課程】

1. 本専攻の教育と研究理念を理解し、修得するのに必要な基礎学力・語学力を有し、生命、資源、食料、環境に関する最先端の研究を生物と化学の融合領域で行い、応用に結びつける意欲を有する人。
2. 主体的に行動し、情報収集能力があり、問題解決に向けてチャレンジ精神のある人。
3. 教育・研究成果を社会に役立つため、国際的に発信する意欲を有する人。

【博士後期課程】

1. 本専攻の教育と研究理念を理解し、修得するのに必要な学力・語学力を有し、生命、資源、食料、環境に関する最先端の研究を生物と化学の融合領域で行い、応用に結びつける意欲を有する人。
2. 論理的思考力および記述能力、口頭発表能力を有し、主体的に行動し、情報収集能力があり、問題解決に向けてチャレンジ精神のある人。
3. 修学・研究成果を社会に役立てるため、国際的に発信し相互理解を深め、当該研究分野で世界をリードする意欲を有する人。

環境管理学専攻

環境管理学専攻では、本学の建学精神である実学教育と人格の陶冶をふまえ、持続可能な農林水産業の展開と生物多様性の保全に必要な知識と技術を修得し、育まれた高度な能力をもって、人類が直面する環境問題の解決に貢献できる人材を育成します。

以下に挙げたような人物像を備えた入学者を国内外から広く受け入れるため、学内推薦入学選考、学内入学選考、一般入学選考、社会人入学選考、外国人留学生入学試験を実施します。各選考・入学試験では口頭試問を行い、ルーブリックにより評価されます。

【博士前期課程】

1. 環境管理学専攻の教育・研究分野と理念・目標を理解し、環境管理学を修得するのに必要な基礎学力と研究意欲を有する人。
2. 人類と自然の共生をめざし、開発と保護の調和をはかるための問題解決能力の修得をめざす人。
3. 研究成果を社会に発信できる語学力やコミュニケーション能力を修得する意欲を有する人。

【博士後期課程】

1. 環境管理学専攻の教育・研究分野と理念・目標を理解し、環境管理学を修得するのに必要な学力と、地球規模の環境問題の解決をめざす高い研究意欲を有する人。
2. 人類と自然の共生をめざし、開発と保護の調和をはかるための専門知識、研究能力、思考力、問題解決能力の修得をめざす人。
3. 研究成果を世界に発信できる語学力やコミュニケーション能力を修得し、国際的に活躍する意欲を有する人。

バイオサイエンス専攻

バイオサイエンス専攻は、本学の建学精神である「実学教育」と「人格の陶冶」をふまえ、生物の多様な機能に着目した研究を通して、その原理を理解し、得られた成果を社会にフィードバックできる柔軟な思考力と創造力を持ち、人類が抱える食料・医療、創薬、エネルギーの諸問題を解決できる人材を育成します。これを実現するために、以下に挙げるような人物像を備えた入学者を国内外から広く受け入れることを目的とし、学内推薦入学選考、学内入学選考、一般入学選考、社会人入学選考、外国人留学生入学試験を実施いたします。

博士前期課程の各選考・入学試験においては、志願者の基礎学力やコミュニケーション能力について、学力試験（英語と専門科目）、口頭試問などにより総合的に評価します。また、口頭試問に関しては、以下の項目についてルーブリック（大学院における学修に対する意欲、研究目的・背景の理解、卒業研究結果の理解、専門知識）で総合的に評価しています。

博士後期課程の各選考・入学試験においては、研究に関するプレゼンテーションと口頭試問などにより評価します。また、口頭試問に関しては、以下の項目についてルーブリック（研究の意義の理解、専門知識と課題設定能力、研究遂行能力、プレゼンテーション能力）で総合的に評価しています。

【博士前期課程】

1. 本専攻博士前期課程の教育・研究を理解、修得するのに必要な動物学、植物学、微生物学、化学に関する知識と語学力を持ち、高い研究意欲を有する人。
2. 独創的なフロンティア精神と探究心を兼ね備えた人。
3. 幅広い視野を持ち、国際的に研究活動を行う意欲と能力を有する人。

【博士後期課程】

1. 本専攻博士後期課程の教育・研究を理解、修得するのに必要な動物学、植物学、微生物学、化学に関する、より高度で専門的な知識と高い語学力を持ち、問題解決に必要な課題設定能力と高い意識をもって研究を遂行できる人。
2. 研究の学術的・実用的意義を理解し、さらに独創的なフロンティア精神と探究心を兼ね備えた人。
3. 幅広い視野を持ち、研究成果を国際的に発信するためのコミュニケーション能力、主体的に研究活動を行う意欲と能力を有する人。

1. 入学試験

1-① 入学試験日程表

入学定員※1	【農業生産科学専攻】 博士前期課程：10名 博士後期課程：2名			
	【水産学専攻】 博士前期課程：10名 博士後期課程：4名			
	【応用生命化学専攻】 博士前期課程：14名 博士後期課程：5名			
	【環境管理学専攻】 博士前期課程：10名 博士後期課程：2名			
	【バイオサイエンス専攻】 博士前期課程：12名 博士後期課程：4名			
日程	9月募集		2月募集※2	
課程	博士前期課程	博士後期課程	博士前期課程	博士後期課程
入試種別	<ul style="list-style-type: none"> ■学内入学選考 ■一般入学選考 ■社会人入学選考 	<ul style="list-style-type: none"> ■一般入学選考 ■社会人入学選考 	<ul style="list-style-type: none"> ■学内入学選考 ■一般入学選考 ■社会人入学選考 	<ul style="list-style-type: none"> ■一般入学選考 ■社会人入学選考
出願期間	令和6年7月22日(月)～令和6年8月2日(金)		令和7年1月17日(金)～令和7年1月30日(木)	
試験日	令和6年9月14日(土)		令和7年2月15日(土)	
合格発表日	令和6年9月27日(金)		令和7年3月4日(火)	

※1 入学定員は、学内入学選考・一般入学選考・社会人入学選考・外国人留学生入学選考の入学者を含みます。

※2 2月期は、令和6年9月実施の入試状況により、募集をしない可能性があります。

1-② 入試予備日

台風・雪・地震等による災害その他特別な事情により、上記に定めた期日に実施できず、または完了しなかった試験分については下記の試験予備日に実施します。この場合の合格発表日・手続期間は改めて試験実施日および合格発表時に通知します。さらに予備日での実施が困難な場合は、状況が回復次第、できるだけ速やかに実施します。

入学試験日	試験予備日
令和6年9月14日(土)	令和6年9月21日(土)
令和7年2月15日(土)	令和7年2月22日(土)

2. 出願資格

【博士前期課程】

2-① 学内入学選考（9月募集・2月募集）

令和7年3月近畿大学を卒業見込みで学科長または演習・卒業研究指導教員のいずれかの推薦があり、志望専攻と関係ある課程を修めた者。ただし、農学研究科は農学部を卒業見込みで演習指導教員または学科長の推薦する者。農学研究科は当該学部の既卒業者を含む。

※各専攻とも、別に定める成績基準を満たす者。

2-② 一般入学選考（9月募集・2月募集）

次のいずれかに該当し、志望専攻と関係ある課程を修めた者。

- (1) 大学の学部を卒業した者および令和7年3月卒業見込みの者。
- (2) 大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者および令和7年3月までに学士の学位を授与される見込みの者。
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者および令和7年3月修了見込みの者。
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者および令和7年3月修了見込みの者。
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者および令和7年3月修了見込みの者。
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者および令和7年3月修了見込みの者。
- (7) 文部科学大臣の指定した者。（昭和28年2月7日文部省告示5号）
- (8) 本大学院において個別の入学資格審査により、上記と同等以上の学力があると認められた者で22歳に達した者および令和7年3月31日までに達する者。
- (9) 本大学院において上記（1）と同等以上の学力があると認められた者。

※上記（7）、（8）または（9）に該当すると思われる者は、出願資格の有無を事前に審査しますので、出願期日の2カ月前までに奈良キャンパス学生センターに相談し、「研究歴」「研究の成果」等の審査に必要な書類を提出してください。

2-③ 社会人入学選考（9月募集・2月募集）

次の（1）～（9）のいずれかに該当すると共に、（10）、（11）の条件を満たす者。

- （1）大学の学部を卒業した者。
- （2）大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者。
- （3）外国において学校教育における16年の課程を修了した者。
- （4）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者。
- （5）我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者。
- （6）専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者。
- （7）文部科学大臣が指定した者。（昭和28年2月7日文部省告示5号）
- （8）本大学院において個別の入学資格審査により、上記（1）と同等以上の学力があると認めた者で22歳に達した者および令和7年3月31日までに達する者。
- （9）本大学院において上記（1）と同等以上の学力があると認めた者。
- （10）大学卒業者は大学卒業後1年以上、（2）から（6）または（7）から（9）の出願資格取得後1年以上の在職経験がある者。
- （11）在職している職場の長からの「推薦」がある者。

※上記（7）、（8）または（9）に該当すると思われる者は、出願資格の有無を事前に審査しますので、出願期日の2カ月前までに奈良キャンパス学生センターに相談し、「研究歴」「研究の成果」等の審査に必要な書類を提出してください。

【博士後期課程】

2-④ 一般入学選考（9月募集・2月募集）

次のいずれかに該当し、志望専攻と関係ある課程を修めた者。

- （1）修士の学位を有する者および令和7年3月修士課程または博士前期課程を修了見込みの者。
- （2）専門職学位を有する者および令和7年3月までに専門職学位を取得見込みの者。
- （3）外国において修士の学位に相当する学位を有する者および令和7年3月までに取得見込みの者。
- （4）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者および令和7年3月までに取得見込みの者。
- （5）我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者および令和7年3月までに取得見込みの者。
- （6）文部科学大臣の指定した者。（平成元年9月1日文部省告示第118号）
- （7）本大学院において個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で24歳に達した者および令和7年3月31日までに達する者。
- （8）大学を卒業した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者。

※上記（6）、（7）または（8）に該当すると思われる者は、研究科で出願資格の有無を事前に審査しますので、出願期日の2カ月前までに奈良キャンパス学生センターに相談し、「研究歴」「研究の成果」等の審査に必要な書類を提出してください。

2-⑤ 社会人入学選考（9月募集・2月募集）

次の（1）～（8）のいずれかに該当すると共に、（9）の条件を満たす者。

- （1） 修士の学位を有する者。
- （2） 専門職学位を有する者。
- （3） 外国において修士の学位に相当する学位を授与された者。
- （4） 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者。
- （5） 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者。
- （6） 文部科学大臣の指定した者。（平成元年9月1日文部省告示第118号）
- （7） 本大学院において個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で24歳に達した者および令和7年3月31日までに達する者。
- （8） 大学を卒業し、または外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事したもので、本大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者。
- （9） 入学時において、上記（1）から（5）に該当する場合大学院修了後2年以上の在職経験が、上記（6）、（7）または、（8）に該当する場合は大学卒業後または出願資格取得後4年以上の在職経験があり、かつ在職のまま入学を希望し、在職している職場の長の「推薦」があること。

※上記（6）、（7）または、（8）に該当すると思われる者は、研究科で出願資格の有無を事前に審査しますので、出願期日の2ヵ月前までに奈良キャンパス学生センターに相談し、「研究歴」「研究成果」等の審査に必要な書類を提出してください。

3. 出願書類

下記の書類をご提出ください。

農学研究科【博士前期課程】

出願書類	内容	試験制度					
		9月期			2月期		
		学内	一般	社会人	学内	一般	社会人
出願確認票	インターネット出願サイトより画面の指示に従って必要な情報を入力し、出願登録をしてください。出願写真データについては、14ページをご確認ください。 ※紙での提出は不要です。	○	○	○	○	○	○
履歴書 (インターネット出願サイト「必要書類」よりダウンロード)	必要事項を記入してください。 (https://www.kindai.ac.jp/graduate/exam/requirements/document/)	○	○	○	○	○	○
卒業または卒業見込証明書	出願3ヵ月以内に発行したもの。大学院修了(見込)者は学部および大学院の証明書を提出してください。 ※ただし、外国の学校の場合は、発行日の記載がなくても認めます。	○	○	○	○	○	○
成績証明書	出願3ヵ月以内に発行したもの。大学院修了(見込)者は学部および大学院の証明書を提出してください。 ※ただし、外国の学校の場合は、発行日の記載がなくても認めます。	○	○	○	○	○	○
推薦書	学長宛。(ダウンロード用紙使用可)	○	-	-	○	-	-
封筒(角形2号)	インターネット出願サイトより宛名ラベル(A4)を印刷し貼付してください。	○	○	○	○	○	○
在職証明書 (書式自由)	1年以上の在職経験があることを証明する書類。	-	-	○	-	-	○
職場の長の推薦書 (書式自由)	研究科長宛。志望する専攻に関連する研究に従事している場合は、その内容についての意見を含みます。	-	-	○	-	-	○
研究報告書または研究計画書 (書式自由)	これまで従事してきた研究に関する「研究報告書」または出願する専攻で志望する研究についての「研究計画書」(500~1200字)	-	-	○	-	-	○

農学研究科【博士後期課程】

出願書類	内容	試験制度			
		9月期		2月期	
		一般	社会人	一般	社会人
出願確認票	インターネット出願サイトより画面の指示に従って必要な情報を入力し、出願登録をしてください。出願写真データについては、14ページをご確認ください。 ※紙での提出は不要です。	○	○	○	○
履歴書 (インターネット出願サイト「必要書類」よりダウンロード)	必要事項を記入してください。 https://www.kindai.ac.jp/graduate/exam/requirements/document/	○	○	○	○
修了または修了見込証明書	出願3ヵ月以内に発行したもの。 ※ただし、外国の学校の場合は、発行日の記載がなくても認めます。	○	○ ^{※1}	○	○ ^{※1}
成績証明書	出願3ヵ月以内に発行したもの。 ※ただし、外国の学校の場合は、発行日の記載がなくても認めます。	○	○	○	○
研究経過報告書	A4用紙に1500字程度(修士論文提出者を除く)	○	-	○	-
修士論文(写)および 学会発表等の論文別冊		○	-	○	-
封筒(角形2号)	インターネット出願サイトより宛名ラベル(A4)を印刷し貼付してください。	○	○	○	○
在職証明書(書式自由)	2年以上の在職経験のあることを証明する書類。	-	○	-	○
職場の長の推薦書(書式自由)	研究科長宛。志望する専攻に関連する研究に従事している場合は、その内容についての意見を含みます。	-	○	-	○
研究報告書または研究計画書 (書式自由)	1200字～3000字	-	○	-	○

※1 社会人入学選考を受験する場合は「卒業または修了証明書」を提出してください。

4. 選考方法

■試験は奈良キャンパスで実施いたします。受験票に教室名を記載しておりますのでご確認ください。

【博士前期課程】

4-① 学内入学選考（9月募集・2月募集）

学力試験、口頭試問、学部の成績等を総合して合否を決定します。

専攻	外国語	口頭試問
	10:00～11:30	13:30～
農業生産科学専攻 水産学専攻 応用生命化学専攻 環境管理学専攻 バイオサイエンス専攻	英語	主として専修科目について (専攻ごと)

4-② 一般入学選考（9月募集・2月募集）

学力試験、口頭試問等を総合して合否を決定します。

専攻	外国語	専攻の基礎科目	口頭試問
	10:00～11:30	12:30～14:00	14:30～
農業生産科学専攻	英語	作物学、育種学、園芸植物学、植物感染制御工学、昆虫学、農業経営経済学、花卉園芸学のうち、志望する専攻分野の科目から1科目選択	主として志望する 専修科目について (専攻ごと)
水産学専攻		水産増殖学、水産生物学、漁業生産システム、水族環境学、水産利用学のうち、志望する専攻分野の科目から1科目選択	
応用生命化学専攻		応用微生物学、食品微生物工学、応用細胞生物学、生物制御化学、生命資源化学、森林生物化学、食品機能学のうち、志望する専攻分野の科目から1科目選択	
環境管理学専攻		水圏生態学、生態系管理学、環境化学、自然資源管理学、環境政策学のうち、志望する専攻分野の科目から1科目選択	
バイオサイエンス専攻		生体機能科学、分子機能化学のうち、志望する専攻分野の科目から1科目選択	

4-③ 社会人入学選考（9月募集・2月募集）

専修科目に関する口頭試問、出願時に提出した「研究報告書」または「研究計画書」に関する口頭試問および「推薦書」等を総合的に判断して、合否を判定します。

専攻	口頭試問
	10:00～
全専攻	主として志望する専修科目について（専攻ごと）

【博士後期課程】

4-④ 一般入学選考（9月募集・2月募集）

学力試験、口頭試問の結果を総合して合否を決定します。

専攻	口頭試問
	10:00～
全専攻	主として志望する専修科目について（専攻ごと）

4-⑤ 社会人入学選考（9月募集・2月募集）

専修科目に関する口頭試問、出願時に提出した「研究報告書」または「研究計画書」に関する口頭試問および「推薦書」等を総合的に判断して、合否を判定します。

専攻	口頭試問
	10:00～
全専攻	主として志望する専修科目について（専攻ごと）

5. 出願

5-① 出願方法

出願方法(出願はインターネットのみとなります) ※一部変更になる可能性もあります。

1 事前準備

必要書類は、発行に時間がかかる場合がありますので、できるだけ出願前に準備をしてください。

2 インターネット出願ページにアクセス

近畿大学大学院ホームページより「インターネット出願について」をクリックし、
インターネット出願サイト (<https://prod.shutsugan.ucaro.jp/kindai-graduate/top>) にアクセスしてください。
最初に「インターネット出願トップ画面」の「出願の流れ」を必ずよく読んでください。

3 出願

「インターネット出願トップ画面」の「試験日程一覧(出願情報の登録)」から出願する試験制度の下にある「出願する」ボタンをクリックし、「UCARO」ログイン(会員登録が未登録の方は、【UCARO 会員登録】の手順で登録してください。)してください。

ログイン後、①志望情報入力→②個人情報入力の順番に入力してください。

※ 登録完了後と入金完了後に完了メールを送信します。

携帯メールの場合は、ドメイン (@ucaro.jp) の受信許可をしてください。

※ 確認メールが迷惑メールフォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。

※ UCARO 会員登録では、本登録用のメールを送信します。

携帯メールの場合は、ドメイン (@ucaro.net) の受信許可をしてください。

4 入学検定料の支払い

クレジットカード、コンビニ、金融機関 ATM (Pay-easy)、ネットバンキングのいずれかの方法でお支払いいただけます。

『出願登録完了画面』から [決済方法を選択する] ボタンを押して『決済方法選択画面』へ進みます。

決済方法を選択して [決済サイトに進む] ボタンを押し、画面の案内に従ってお支払いください。

※一度納入された入学検定料は原則として返還いたしません。

※入学検定料の他に手数料が必要です。

5 出願書類の郵送

募集要項に記載されている必要書類を確認して封筒に入れ、インターネット出願サイトより宛名ラベル (A4)を印刷し、同封の封筒に貼付してください。出願期間内に郵便局の窓口から簡易書留・速達で郵送してください。(出願締切日必着)

※登録完了画面から宛名ラベルを出力してください。

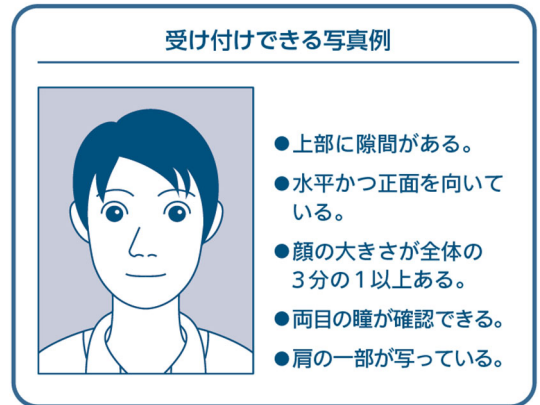
注意：・登録完了後、検定料を支払い、出願書類を郵送することで出願が完了します。

- ・検定料は 32,000 円となります。
- ・インターネット出願は 24 時間可能ですが、検定料の支払いは出願締切日まで
(営業時間は ATM やコンビニなどの施設によって異なります)、出願書類は出願締切日必着です。
できるだけ余裕をもって出願してください。
- ・受験票が試験実施 2 日前までに未着の場合は、奈良キャンパス学生センターへお問い合わせください。
(15 ページ参照)

〈出願写真データについて〉

出願写真は、インターネット出願時に出願写真データをアップロードしていただきます。
郵送の必要はありません。出願写真データのアップロード方法は、下記を参照ください。

- 出願3か月以内に撮影した受験者本人のみが写ったカラー写真
(モノクロ・スナップ写真は不可)
- 上半身、正面(焦点が合ったもの)、無帽(ヘアバンドも不可)、背景無地、枠無しものを使用してください。
- 制服、私服は問いません。ただし、入学が許可された場合には、学生証用写真等に使用します。卒業時まで写真交換はできません。
- 眼鏡着用の場合、レンズは無色透明(ブルーライトカットレンズ等の反射するものは不可)で、レンズに光が反射していないものに限りです。
- 画像に加工を施していないこと。また、不鮮明なもの(背景と人物の境目がわかりにくいもの等)、サングラス・マスクや髪や影で目元輪郭を隠している、目を閉じている等、個人の判別、本人確認が困難な写真は使用できません。
- 平常の顔貌と著しく異なるもの(たとえば、口を開き歯が必要以上に見えているものは不可)
- 変色や傷、汚れのないもの
- 証明写真等、プリントアウトした写真を撮影したものは不可。
- ファイル形式: JPEG
- 推奨サイズ: VGA (640×480 サイズ)



[不適当な写真例] ※次のような写真の場合は、再請求することがあります。



※出願写真データは画面上でサイズを調整して登録することができますので、顔ははっきり映るように適宜調整してください。
(顔が大きすぎる、小さすぎるものは不可)

※出願写真として適切ではないと判断された場合は、再提出になることがあります。

出願期間内に再提出を行わない場合、出願は受理できません。

※一度受理された出願写真データは、変更することができません。

〈写真アップロード方法〉



1 必要書類確認・写真アップロードの画面に表示される[出願写真をアップロード]ボタンを押してください。



2 出願写真アップロード画面にある「出願写真に関する注意事項」を読み、[ファイル選択]ボタンを押してパソコン・スマートフォンの端末に保存されている写真を選択してください。選択後[写真の加工に進む]ボタンを押してください。

3 ドラッグによる画像位置の移動や、回転・拡大・縮小、明るさの調整ができます。画面の指示にしたがって操作し、[切り抜く]ボタンを押してください。

4 最後に確認事項をよく読み、すべてにチェックを入れたら[出願写真として提出する]ボタンを押してください。これで出願写真のアップロードは完了です。

※前ページに戻る場合は、ブラウザの[戻る]ボタンを使用せずに、画面内の[戻る]ボタンを使用してください。

5-② 書類送付・問い合わせ先一覧

【奈良キャンパス】 〒631-8505 奈良県奈良市中町 3327-204

書類送付先・問い合わせ先	電話番号
奈良キャンパス学生センター学生支援課大学院入試係	(0742) 43-1849

5-③ その他

身体機能に障がいがある人、不慮の事故による負傷者・疾病者の申し出について

(1) 身体の機能に障がいのある人で、受験時および入学後の就学に特別な配慮を必要とする場合は必ず出願前に奈良キャンパス学生センターに相談してください。

事前に書類等を提出いただくことがあります。ただし、入学試験の可否に影響をおよぼすことはありません。

(2) 出願後の不慮の事故等による負傷者・疾病者が、受験時に特別な配慮・措置を希望する場合は至急、奈良キャンパス学生センターに申し出てください。

(3) 特別な配慮・措置を希望する場合でもご希望に添えない場合もありますのでご了承ください。

6. 合格発表および入学手続

6-① 発表方法

合格者には、合格通知書および入学に必要な提出書類ならびに手続方法を送付、通知します。
指示に従って手続をしてください。手続期間を過ぎますと入学を許可できませんので注意してください。
(締切日消印有効)

試験日	合格発表日	入学手続期間
令和6年9月14日(土)	令和6年9月27日(金)	令和6年9月27日(金)～令和6年10月11日(金) 〔二次手続納入締切期日〕令和6年12月13日(金)
令和7年2月15日(土)	令和7年3月4日(火)	令和7年3月4日(火)～令和7年3月19日(水)

6-② 入学手続

合格者は、所定の期日までに入学手続を完了してください。
なお、期日までに所定の手続を完了しない場合は、入学の意志がないものとして入学許可を取り消します。また、一度受理した入学手続書類および入学金(入学申込金)は原則として返還いたしません。

6-③ 入学金(入学申込金)学費等の納入

入学金(入学申込金)・学費等納入金の納入は銀行振込(本学指定の振込依頼書)により入学手続期間内に次の[1]
または[2]のいずれかの方法により納入してください。(締切日消印有効)

※振込依頼書は(イ)一括手続用(ロ)一次手続用(ハ)二次手続用の3枚が同封されていますので、切り離して(イ)一括手続用1枚のみを使用、または(ロ)一次手続用(ハ)二次手続用の2枚のみを使用(9月期のみ選択可)のいずれかで納入してください。

[1] 一括して納入する方法

入学金・学費等納入金を一括して所定の期間内に納入((イ)一括手続用の振込依頼書で納入してください。)するとともに、入学に必要な書類を大学に別途郵送することによって入学手続は完了します。

[2] 2回に分けて納入する方法 ※9月期のみ

- (1) 第一次手続 入学申込金のみ納入(令和6年10月11日(金)まで)((ロ)一次手続用の振込依頼書で納入してください。)
- (2) 第二次手続 学費等を納入(令和6年12月13日(金)まで)((ハ)二次手続用の振込依頼書で納入してください。)するとともに、入学に必要な書類を大学に別途郵送することによって入学手続は完了します。

※10月11日(金)までに入学申込金を納入しないと二次手続をすることができません。

※入学手続に必要なすべての学費を納入された時点で、「入学申込金」は「入学金」として取り扱います。

(注1) 学費については、6-④を参照してください。

(注2) 10万円を超える現金振込の際には、指定の振込依頼書とともに、振込手続を行う方の本人確認書類(運転免許証、マイナンバーカード、パスポートなど)をご用意のうえ、国内の金融機関窓口をご利用ください。

(注3) 本学の領収書は発行しませんので、振込金(兼手数料)受取書や振込控等は大切に保管してください。

6-④ 学費等一覧表

【博士前期課程】

単位：円

学年	費 目			
	入学金	授業料 []内 前期納付金	学生健保共済会費	合計
1 年次	200,000 (※100,000)	950,000 [475,000]	4,500	1,154,500 (※ 1,054,500)
2 年次		1,000,000 [500,000]	4,500	1,004,500

備 考

- (1) 入学時納入金は、入学金、授業料[前期分]、学生健保共済会費の合計額です。
- (2) ※印は、本学の学部および大学院を令和7年3月卒業・修了見込の方に適用されます。
- (3) 授業料[後期分]の納入期は10月です。
- (4) 表示額以外に校友会終身会費30,000円が必要です(入学年次に20,000円、最終学年次に10,000円)。入学後、校友会の準会員となり、卒業後、正会員になります。
ただし、本学学園出身者で既に校友会終身会費を納めた方は不要です。
- (5) 上記は令和6年度入学時の金額ですので、変更される場合があります。予めご了承ください。

【博士後期課程】

単位：円

学年	費 目			
	入学金	授業料 []内 前期納付金	学生健保共済会費	合計
1 年次	200,000 (※不要)	950,000 [475,000]	4,500	1,154,500 (※ 954,500)
2 年次		1,000,000 [500,000]	4,500	1,004,500
3 年次		1,030,000 [515,000]	4,500	1,034,500

備 考

- (1) 入学時納入金は、入学金、授業料[前期分]、学生健保共済会費の合計額です。
- (2) ※印は、本学の大学院修士課程または博士前期課程を令和7年3月修了見込の方に適用されます。
- (3) 授業料[後期分]の納入期は10月です。
- (4) 表示額以外に校友会終身会費30,000円が必要です(入学年次に20,000円、最終学年次に10,000円)。入学後、校友会の準会員となり、卒業後、正会員になります。
ただし、本学学園出身者で既に校友会終身会費を納めた方は不要です。
- (5) 上記は令和6年度入学時の金額ですので、変更される場合があります。予めご了承ください。

7. 奨学金・入学辞退に伴う学費等返還

7-① 奨学金

勉学意欲が旺盛であり、経済的理由によって修学困難な学生に対して、学資の一部を給付あるいは貸与する奨学金制度があります。

なお、詳細については奈良キャンパス学生センター（奨学金担当）にお問い合わせください。

1. 近畿大学奨学金

- (1) 世耕弘一奨学金（給付）
- (2) 近畿大学奨学金（無利子貸与・定期採用）
- (3) 近畿大学災害特別奨学金（無利子貸与・随時）
- (4) 近畿大学応急奨学金（無利子貸与・随時）

2. 日本学生支援機構奨学金

- (1) 第一種奨学金（無利子・選択型）〈特に優れた業績による返還免除制度があります〉
- (2) 第二種奨学金（有利子・選択型）
- (3) 入学時特別増額貸与奨学金（有利子・一括貸与）

7-② 経済的負担軽減に関する支援制度

近畿大学大学院における奨学金・大学独自の授業料減免・研究科の独自経済的負担軽減措置に関する情報をファイナンシャル・プランとして本学大学院のホームページに公表しています。

詳細は近畿大学大学院のホームページをご覧ください。



ファイナンシャル・プラン
(ホームページ)

・奨学金・大学独自の授業料免除・研究科の独自経済的負担軽減措置に関する情報

URL：<https://www.kindai.ac.jp/graduate/disclosure/plan/>

7-③ 入学辞退に伴う学費等返還

入学手続完了者が入学を辞退（学費返還を伴う）される場合は、合格通知書（入学に必要な書類等）に同封いたします「入学辞退に伴う学費等返還について」をご確認いただき令和7年3月31日（月）窓口終了時間までに「入学辞退に伴う学費等返還願」を提出願います。後日、入学金（入学申込金）を除く学費等を返還します。学費等の返還は、4月末日までに銀行振込にて送金します。

8. その他

【近畿大学大学院 研究科・専攻 設置年】

研究科	専攻	設置年
農学研究科	農業生産科学専攻	[修士・平成 17 年] [博士・平成 17 年]
	水産学専攻	[修士・昭和 61 年] [博士・平成元年]
	応用生命化学専攻	[修士・昭和 60 年] [博士・平成元年]
	環境管理学専攻	[修士・平成 17 年] [博士・平成 17 年]
	バイオサイエンス専攻	[修士・平成 17 年] [博士・平成 17 年]

【研究科・専攻・課程・授与する学位】

研究科	専攻	課程	授与する学位	
			修士	博士
農学研究科	全専攻	博士前期課程 博士後期課程	修士（農学）	博士（農学）

【アクセス】

- ・奈良キャンパスまでの交通アクセス
近鉄奈良線・富雄駅からバス約 10 分
URL : <https://www.kindai.ac.jp/agriculture/access/>



交通アクセス
(ホームページ)



キャンパスマップ
(ホームページ)



ノートパソコン
必携化
(ホームページ)

- ・キャンパスマップ（奈良キャンパス）
URL : <https://www.kindai.ac.jp/agriculture/about/facility/map/>
- ・ノートパソコン必携化
URL : <https://www.kindai.ac.jp/for-students/laptop/>

出願時の教員名入力について

出願時の入力の際、「志望専修科目および指導教員名」欄は本学大学院 Web ページ (<https://www.kindai.ac.jp/graduate/for-entrance/exam/outline/>) の教員一覧（「大学院研究科概要（カリキュラム）」）を参照のうえ「選択必修科目」から指定し、担当教員名も入力してください。

試験当日について

- (1) 各入学試験におきまして、決められた試験室に試験開始 30 分前までに集合してください。
- (2) 遅刻限度時刻は、原則として試験開始 30 分後です。
ただし、やむを得ない事情によって遅刻した場合は、奈良キャンパス学生センターに申し出てください。

試験当日における対応について

本学大学院では、入学試験実施に際し、公平で良好な受験環境の保持に努めますが、やむを得ず以下のような対応をとる場合があります。予めご了承ください。

(1) 不測の事態（地震などの自然災害や火災、停電、公共交通機関の遅延、チャイムの誤作動等の設備の故障等）の発生により、試験開始時刻の繰下げや正規の試験時間を確保するための試験時間の延長、それらを理由とした休憩時間の調整などの措置をとることがあります。その場合、本学の責によらない不可抗力による事故等であることが明らかな場合は、それによって生じた受験者の負担費用、その他個人的損害について、本学はその責任を一切負いません。

- (2) 試験室内の設備（机、椅子、空調、照明、音響設備等）の違いなどは、合否判定の際、一切考慮しません。
- (3) 解答時間中に、日常的な生活騒音が発生した場合でも、特別な救済措置は行いません。

【日常的な生活騒音の具体的な事例】

- ・航空機、自動車などの騒音や通過する緊急自動車のサイレン等の音
- ・風雨や雷鳴など自然発生する騒音
- ・廃品回収やイベントや選挙などのアナウンスや工事の音
- ・動物の鳴き声
- ・空調機器や照明など試験会場に備える施設や設備が発する音
- ・周囲の受験者や試験監督者が発する咳やくしゃみ、鼻をすする音など
- ・携帯電話等の短時間の鳴動

* 試験時間中に携帯電話などの鳴動が発生し、その発生源であるかばんなどが特定できた場合は、その持ち主の同意なしに試験監督者が試験室外に持ち出し、試験終了まで保管することがあります。

- (4) 試験時間中に、試験監督者が試験実施上必要な打合せ・指示・説明・巡回を行うことに伴って生じる音等に対する申し出には応じられません。
- (5) 特定の受験者の行為が、他の受験者に迷惑であると判断された場合は、受験の中止や別室にて受験を指示するなどの措置を講じることがあります。
- (6) その他緊急の対応を必要とする事項などにつきましては、その旨を受験票に記載し、その詳細を本学大学院のホームページに掲載します。また、試験当日の緊急連絡等については出願時に登録いただいたメールアドレスに送信する場合があります。
- (7) 入学試験はオンラインで実施する場合があります。その際は事前に通知します。

近畿大学大学院

奈良キャンパス学生センター

奈良県奈良市中町3327-204

TEL：(0742)43-1849

Mail：nj_kyomu@nara.kindai.ac.jp